

ディスクゴルフ 公式ルール



DISC GOLF

[PDGA.com](https://www.pdga.com)

PDGA™

目次

Page

	Page		Page		
800	ゲームの説明.....	1	809	その他のスロー	10
801	ルールの適用	1	809.01	スローの放棄 (アバドランス)	
801.01	公平性		809.02	暫定スロー	
801.02	適用		809.03	練習スロー	
801.03	抗議 (アピール)		810	干渉	11
802	スロー.....	2	811	ミスプレー	12
802.01	スローについて		812	礼儀 (マナー)	13
802.02	順番		813	装備	14
802.03	タイムオーバー		813.01	不正なディスク	
802.04	ティーの開始 (ティーオフ)		813.02	不正な装置	
802.05	ライ		付録	A: マッチプレー	16
802.06	ライのマーキング		A.01	総論	
802.07	スタンス		A.02	プレーの順番	
803	障害物と救済措置	5	A.03	ペナルティ	
803.01	動かせる障害物		A.04	得点	
803.02	障害物からの救済措置		A.05	合意	
803.03	コースへのダメージ		A.06	試合の勝敗	
804	規制されたルート	6	付録	B: ダブルスとチームプレー.....	17
804.01	マンドトリーのお経路		B.01	総論	
805	規制されたポジション (ライ)	6	B.02	プレーの順番	
805.01	ポジション (ライ) の確立		B.03	ペナルティ	
805.02	2m以上に静止したディスク		B.04	ライ	
805.03	ロストディスク		B.05	フォーマット	
806	規制されたエリア	8	付録	C: 換算	19
806.01	バッティング・エリア		付録	D: 索引.....	19
806.02	アウト・オブ・バウンズ		Q & A	21
806.03	カジュアル・エリア		ルール変更の概要	33	
806.04	救済エリア				
806.05	ハザード				
807	ホールの完了.....	9			
808	スコア.....	10			

ディスクゴルフ公式ルール



800ゲームの説明

ディスクゴルフのゲームの目的は、ディスクの最小投数でコースを攻略することである。コースは、通常、9または18のホールがあり、それぞれのユニットで各ホールの合計スコアがつけられる。

各ホールでのプレーはティーから開始し、ターゲットに収まることで終了する。プレーヤーがティーから投げた後、それぞれ前のスローが静止した場所から次のスローが行われる。ホールを完了すると、プレーヤーはすべてのホールを終了するまで、次のホールのティーエリアへと進む。

ディスクゴルフコースは、通常、ディスクの飛行を妨げるような自然の障害物のある、起伏に富んだ林間エリアとその周辺に設けられる。コースは、ホールの難易度を低くするためにプレーヤーによって変更されてはならない。プレーヤーはルールに違反しないよう、コース上でディスクをあるがままにプレーしなければならない。

801ルールの適用

801.01 公平性

- A. これらのルールは、すべてのディスクゴルファーのフェアプレーを促すように作られている。これらのルールを適用する際には、プレーヤーは置かれた状況に最も直接的に対応するルールを適用しなければならない。何らかの係争が発生し、それがルールとして記載されていない場合、その判断・決定はあくまで公平性に基づいて行われる。多くの場合、最も近い既存のルール、またはこれらのルールに組み込まれた原則に基づく論理的な拡大解釈は、公平性を判定するための指針とされる。

801.02 適用

- A. 選手はスコアを確認し、ルールに従ってプレーする目的でグループによってホールを一緒にプレーするように割り当てられる。グループ内で行われる決定は、過半数によって行われるものとする。
- B. プレーヤーは、明らかに違反を起こした際にコールをされる。コールは、速やかに行わなければならない。(ミスプレーを除く)
- C. グループ内のすべてのプレーヤーに通告することによって、グループ内の任意のプレーヤーのルール違反を宣言したり確認することができる。
- D. 警告は、プレーヤーが特定のルールに違反して与えられる最初の通告である。その次の違反からはペナルティスローが課される。警告は強制的なものではなく、ペナルティスローの実施が行使されるものではない。警告は1つのラウンドから次のラウンドへ、またはプレーオフへと持ち越されることはない。

- E. ペナルティスローが課されるルール違反の際、1人または複数のプレーヤーによって行われたコールは、グループ内の他のプレーヤーまたはオフィシャルに確認された場合にのみ実施することができる。ペナルティスローは、ルールに違反した場合、またはルールによって要求されたライの再設定のためにプレーヤーのスコアに加算されるスローのことである。
- F. トーナメント・オフィシャルまたはオフィシャルは、試合中にルールが適切に運用されているかどうかを判断するためにディレクターの承認を受けた人物とする。ルール違反はいずれかの選手によってコールされるか、またはオフィシャルによって確認される。オフィシャルのコールはそれのみが有効とされるものではない。試合にプレーヤーとして参加するオフィシャルは、自分の所属する部門のオフィシャルにはなれない。
- G. ディレクターはトーナメントおよびイベントの責任者である。ディレクターはトーナメントディレクターになることができる。トーナメントディレクター、コース・ディレクター、またはリーグ・ディレクターだけがプレーヤーを失格にできる。ディレクターの決定は最終的決定である。
- H. 2つ以上のペナルティに抵触するスローまたは行為は、ペナルティスローが多い方のルールを適用する。ペナルティスローが同じ数の場合は、最初に違反したルールでのペナルティが適用される。

801.03 抗議（アピール）

- A. グループ内でルールに基づいた判定が多数決に達しない場合、プレーヤーにとって最も有利な解釈に基づくこととする。
- B. プレーヤーは、グループ内の判定を明確かつ迅速に伝えることによって、オフィシャルまたはディレクターに対して抗議することができる。オフィシャルまたはディレクターが近くにいる場合、その判定を待つ間、グループはコース脇に寄って後続のグループに追い越してもらうことができる。
- C. オフィシャルまたはディレクターが近くにいない場合、スローするプレーヤーはルール判定の結果ごとに一連の暫定スローを行い、後ほどオフィシャルまたはディレクターに判定を求める。
- D. 判定が覆された場合、オフィシャルまたはディレクターは、ルールの正しい解釈を反映するためにスコアを調整することができる。もしくは、ディレクターがプレーヤーに1ホールまたは複数のホールを再プレーさせることができる。ディレクターの判断は最終的なものである。

802スロー

802.01 スローについて

- A. スローとは、ディスクの位置を更新するために投げ放す行為である。
- B. そのライを更新するために競技としてなされた個々のスローが、規則によって無効とならない限りカウントされる。
- C. スローが無効となった場合、そのスローに関連するペナルティも無効となる。スローに関連するペナルティとは、アウト・オブ・バウンズ、ハザード、マンドトリー失敗、2メートルルール、スタンス違反、マーキング違反、不適切な救済処置、およびディスクの紛失に対するものである。

802.02 順番

- A. スタートホールでのティースローをする順番は、スコアカードに記載されている順番に従う。
- B. それ以降のティースローの順番は前のホールのスコアに従い、スコアが最も良かったプレーヤーが最初にスローをする。同スコアだった場合、スローをする順番は変わらない。
- C. すべてのプレーヤーがティースローを終えたら、次からはターゲットから最も遠いプレーヤー（離れているプレーヤー）から順番にスローをする。
- D. プレーヤーが同じライから再びスローをしたり、リスローをする場合、同じプレーヤーが続けてスローをする。リスローとは、直前のスローの代わりに同じライから行われる追加のスローを指す。
- E. プレーの進行を円滑にするために、次にスローをするべきプレーヤーの同意を得た場合、またはスローが次のプレーヤーに影響しない場合は、先にスローをすることができる。
- F. 順番を守らずにスローをするのはマナー違反である。
- G. トーナメント中は、オフィシャルの指示がない限り、またはルールに従ってコース脇に立って待機する場合（801.03 B）を除いて、前のグループを追い越してはならない。

802.03 タイムオーバー

- A. 次の事項が確定した後、30秒以内にスローできなかったプレーヤーは、タイムオーバーと見なされる：
 - 1. 前のプレーヤーがスローを終えた後で、さらに
 - 2. ライに到達するために十分な時間が経過した後で、さらに
 - 3. 次にスローをする順番が来た後で、さらに
 - 4. プレーエリアが安全である状態
- B. 1回目のタイムオーバー違反の場合は、警告を受ける。同じラウンド中、警告を受けた後に再度タイムオーバー違反したプレーヤーは、1投のペナルティスローが課される。スローをする順番になっても不在のプレーヤーについては、(811.F.5)を参照。
- C. プレーヤーはトイレ休憩を取るためにグループに時間延長を要求することができる。同プレーヤーが妥当と思われる時間内に戻らなかった場合は、そのホールをプレーしなかったと見なされ、そのホールのパーに4投のペナルティスローが課される。

802.04 ティーの開始（ティーオフ）

- A. プレーヤーは各ホールのティーエリアからスローをしてプレーを開始する。ティーエリアがティーパッドなどで囲まれて明確にされている場合は、その中からとなる。それ以外の場合は指定されたティーラインから奥行3mのエリアとなる。ティーラインは、ティーエリアの前面のライン、または2つのティーマーカーの外側の端を結ぶラインである。
- B. ディスクがリリースされる瞬間に、プレーヤーは少なくとも1つの支持点がティーエリアに接触している必要があり、支持点全体はティーエリアの地表面に接触していなければならない。支持点とは、リリースする際のプレー地表面上に触れている、または支えている身体の任意の部分である。プレーヤーは、ディスクがリリースされた瞬間の後であれば、ティーエリア外の支持点への接触が認められる。
- C. 802.04.Bに違反したプレーヤーは、スタンス違反として1投のペナルティスローが課される。

802.05 ライ

- A. ライは、プレーヤーがスローをするためにスタンスが取れる面（プレーエリア）上の場所を意味する。プレーエリアとは、一般的には地面であり、プレーヤーが姿勢を正しく保つことができる場所のことである。プレーエリアは、他のエリアの上または下に存在してもよい。プレーエリアであるかどうかが不明な場合は、ディレクターまたはオフィシャルが決定する。
- B. 最初のスローのためのライはティーエリアである。
- C. ドロップゾーンもライの一つである。ドロップゾーンは、そこからある条件の元でディスクを投げることによってディレクターによって指定されたコース上のエリアである。ドロップゾーンは、ティーエリアと同じ手順、またはマークしたライと同じ手順のどちらかで実施される。ティーエリアはドロップゾーンとしても使用可能である。
- D. 全ての場合において、ライはマーカードискの後端からのラインを中心とする幅20cm、長さ30cmの長方形とする。プレーラインは、ターゲットの中心からマーカードискの中心への延長線上にある、プレーエリア上の仮定の線である。マーカードискまたはマーカースティックは、802.06に従ってライをマーキングするために使用されるディスクである。

802.06 ライのマーキング

- A. インバウンズのプレーエリアに接地したディスクの位置がライとなる。
- B. あるいは、プレーヤーはプレーライン上にスローされたディスクの前面にミニマーカードискを置くことによってライをマーキングすることができる。ミニマーカードискとは、スロー自体には使用されず、ミニマーカードиск専用のPDGA基準を満たした小さなディスクである。
- C. スローされたディスクがインバウンズのプレーエリアにない時、またはルールによってライを動かさなければならない時、プレーヤーは該当する規則に従い、ミニマーカードискを置くことによってライをマーキングする。
- D. 上記以外の方法でマーキングしたライからのスローは違反となる。最初のマーキング違反は警告となる。同一ラウンド内に引き続きマーキング違反があった場合、プレーヤーはその都度1投のペナルティスローが課される。

802.07 スタンス

- A. ライがマーカードискでマーキングされている場合、ディスクがリリースされる際にプレーヤーは以下の状態である必要がある。
 - 1. ライと少なくとも1つの支持点によって接触している。そして、
 - 2. マーカードискの後端よりもターゲットに近い支持点を持たない。そして、
 - 3. すべての支持点がインバウンズ内にある。
- B. ドロップゾーンではティーエリア(802.04.B参照)としてか、もしくはマーキングしたライ(802.07.A参照)としてかのどちらかでプレーする。
- C. 802.07.Aまたは802.07.Bに違反したプレーヤーは、スタンス違反として1投のペナルティスローが課される。

803 障害物と救済措置

803.01 動かせる障害物

- A. プレーヤーは、コース上の非恒久的な障害物から最小限になるスタンスを選択しなければならない。プレーヤーは、一度スタンスを確定したならば、スローを行う動作のためのスペースを作るために障害物を動かすことはできない。プレーヤーの行ったスローの動作が、結果的に障害物を動かした場合は問題としない。
- B. 次の例外を除いて、コース上の障害物を移動することはできない：
1. プレーヤーは、スタンスを取る際に支持点を置くプレーり表面上の非恒久的障害物を動かすことができる。非恒久的障害物とは、固定されていない破片(例えば石、落ち葉、小枝や落ちた枝)やその集まり、もしくはディレクターが指定した物になる。
 2. プレーヤーは、他のプレーヤーや彼らの持ち物を移動するよう要求できる。
 3. プレーヤーは、障害となる設備等の撤去を含め、コース内の備品を適切な状態に復元しなければならない。
- C. 上記以外でコース上の障害物を移動させたプレーヤーは、1投のペナルティスローが課される。

803.02 障害物からの救済措置

- A. プレーヤーは、ライの上や後方にある次に上げる障害物から救済を得られる；有害な昆虫や動物、ギャラリー（人）、もしくはディレクターが指定する物や区域。救済を得るためにプレーヤーは、(ディレクターからより重大な救済が発表されていない限り)プレーラインに沿ってターゲットから遠ざかり、さらにその救済を受けることができる最も近い場所に新しいライをマーキングできる。
- B. 障害物によって、プレーヤーがマーカードискの後ろ、またはプレーエリアの上または下に正しいスタンスを取ることができない場合、ディスクをマーキングすることによって、プレーヤーはその障害物の直後のプレーライン上に新しいライをマーキングすることができる。
- C. 上記以外の救済措置をしたプレーヤーは、1投のペナルティスローが課される。
- D. プレーヤーは、グループ内に宣言することによって、いつでもオプション（任意）の救済措置を取ることができる。ターゲットに近づかず、プレーライン上に新しいライをマーキングすることによって、ライを再配置することができる。そのプレーヤーのスコアには、1投のペナルティスローが加算される。
- E. ディスクがアウト・オブ・バウンズ、または2mルールのペナルティの適用後に救済措置が行われる場合は、ペナルティスローが加算されない。

803.03 コースへのダメージ

- A. コースの一部を意図的に破損させたプレーヤーは、2投のペナルティスローが課される。また、競技マニュアルのセクション3.03に従って、そのプレーヤーはトーナメントから失格となる場合もある。

804 規制されたルート

804.01 マンダトリーの経路

- A. マンダトリーの経路は、ディスクがターゲットに向かって通過する軌道を制限する。
- B. その制限された空間は、1つ以上の目標またはその空間の境界を定める他の目印によって示された垂直の面である。
- C. スローが明確かつ完全に制限された空間を通過した時、プレーヤーには1投のペナルティスローが課される。次のスローのためのライは、そのマンダトリーに対するドロップゾーンである。ドロップゾーンが設定されていない場合、次のスローのためのライは直前のライになる。

補足*旧804.02.D項の削除により、マンダトリーに関連するプレーラインの例外条項（マンダトリーをターゲットと見なす）が無くなったため、プレーラインは原則に従って常にターゲットへのラインになる。

805 規制されたポジション（ライ）

805.01 ポジション（ライ）の確定

- A. スローされたディスクは、最初に静止したポジション（ライ）で確定される。
- B. スローされたディスクは、最初に止まった時に静止したとみなされる。水の中や葉の中のディスクは、水、葉、または風の動きの結果としてのみ動いている時、動きを止めている状態とみなされる。
- C. ディスクがプレー地表面の上に静止した場合、その位置はそのディスク直下のプレー地表面になる。ディスクの下にプレー地表面がない場合、その位置はそのディスク直上のプレー地表面になる。

805.02 2m以上に静止したディスク

- A. 2mルールは805.02のルールを指す。ディレクターがそれを適用すると宣言しない限り有効とはならない。ディレクターは、コース全体、特定のホール、および個々のオブジェクトに対して、2mルールの適用を宣言できる。
- B. ディスクの最下点からその直下のインバウンズ地表面までの距離が少なくとも2m以上に静止した時に、2mルールが適用され、プレーヤーは1投のペナルティスローが課される。ディスクの位置はディスクの真下となる。
- C. プレー中のホールのターゲット上に乗ったディスクは、2mルールの対象とはならない。
- D. 判定が行われる前にプレーヤーがディスクを動かした場合、ディスクは2m以上に静止していたと見なされる。

805.03 ロストディスク

- A. ディスクがあると思われる場所に到着してから3分間以内にディスクを見つけられない場合は、ロストディスクを宣言しなければならない。グループ内のどのプレーヤーまたはオフィシャルでも3分間の計測を開始することができるが、計測が始まったことをグループ内に知らせなければならない。
- B. グループ内のすべてのプレーヤーは、ディスクの探索を手伝う必要があり、そうしない場合はマナー違反となる。
- C. ディスクがひとたび紛失したと宣言されたなら、その後に見つかったとしても状況は変わらない。ただし、見つかったディスクを使うことは認められる。
- D. ディスクが紛失したと宣告されたプレーヤーには、1投のペナルティスローが課される。次のスローは直前のライからとなる。ただし、ホール内にロストディスク対策のドロップゾーンが設定されている場合、プレーヤーは直前のライからではなくドロップゾーンからスローをする。
- E. トーナメント終了前にロストと宣告されたプレーヤーのディスクが移動されていたり、持ち去られていたと判明した場合、そのホールのプレーヤーのスコアから2投が差し引かれる。紛失を宣言されたプレーヤーのディスクが、そのディスクの紛失を宣言するよりも前に誰かに取り除かれたり持ち去られたりしたことがその大会終了前に判明した場合、同プレーヤーの当該ホールのスコアから2投が差し引かれる。
- F. ロストディスク対策のドロップゾーンを設定した場合、ディレクターは2投のペナルティスローを加え、直接、ドロップゾーンに進むことをプレーヤーに許可できる。

806規制されたエリア

806.01 パッティング・エリア

- A. マーカーディスクの後端からターゲットの支柱までの距離が10m以内のスローはパットである
- B. パットがリリースされた後、ターゲットに向かって歩き出す前に、マーカーディスクの後方にて完全なバランスの制御を示さなければならない。そうしないプレーヤーはスタンス違反となり、1投のペナルティスローが課される。

806.02 アウト・オブ・バウンズ

- A. アウト・オブ・バウンズ (OB) ・エリアは、ディレクターによって設定された、プレーが不可能でスタンスが取れないエリアである。アウト・オブ・バウンズを示す線 (OBライン) は、アウト・オブ・バウンズ・エリアの一部である。コース上において、アウト・オブ・バウンズの範囲外のすべてのエリアがインバウンズとなる。
- B. ディスクの位置が、明確かつ完全にアウト・オブ・バウンズ・エリアに囲まれている場合、ディスクはアウト・オブ・バウンズとされる。
- C. ディスクがアウト・オブ・バウンズ・エリア内に静止したという合理的な証拠がある場合、ディスクが見つからなくてもアウト・オブ・バウンズと見なされる。そのような証拠がない場合は、ロストディスクとみなされ、805.03に従ってプレーを続行する。
- D. ディスクがアウト・オブ・バウンズとなったプレーヤーは、1投のペナルティスローが課される。プレーヤーは以下の中から、次のスローを選択することができる：

1. 直前のライ：または、
2. ディスクが最後にイン・バウンズ側にあった位置から最長1m以内の任意のポイントで、プレー地表面に置いたマーカーディスクによってマーキングされるライ。

上記のアウト・オブ・バウンズ・エリアにおける上記の選択肢は、PDGAツアーマネージャーの事前承認の元、ディレクターによって制限される場合がある。

また、ディレクターの裁量 (ローカルルール) で、プレーヤーはさらに次のスローを選択することもできる：

3. 指定されたドロップゾーンから。または、
 4. ディスクに最も近いアウト・オブ・バウンズ境界線上の位置から最長1m以内の任意のポイントで、プレー地表面に置いたマーカーディスクによってマーキングされるライからのスロー。
- E. 投げたディスクがインバウンズ内にあり、かつアウト・オブ・バウンズのラインから1m以内にある場合、アウト・オブ・バウンズ境界線に直角に交わる位置から伸びる1mのライン上の任意のポイントに新しいライを再配置できる。あるいは、アウト・オブ・バウンズ境界線による角から1m以内にある場合、その角からディスクを通して伸びる1mのライン上の任意のポイントに新しいライを再配置できる。
 - F. アウト・オブ・バウンズのラインは、垂直な面である。境界線の1m以内にマーキングする場合、1mの救済は、垂直面上の上方向または下方向に適用される。
 - G. アウト・オブ・バウンズ対策のドロップゾーンが設定されている場合、ディレクターは2投のペナルティスローを加えて、直接、ドロップゾーンに進むことをプレーヤーに許可できる。
 - H. ディレクターは、ホールの特例なアウト・オブ・バウンズ・エリアに1mを超える救済を発表することができる。
 - I. アウト・オブ・バウンズの状態であるとの判定が行われる前にディスクを動かした場合は、ディスクはアウト・オブ・バウンズと見なされる。

806.03 カジュアル・エリア

- A. カジュアル・エリアはカジュアルウォーター、またはラウンド前にディレクターが特別にカジュアル・エリアと指定した区域である。カジュアルウォーターとは、インバウンズ内の水域等のことで、ディレクターから明確に指定されていなくてもよい。
- B. カジュアル・エリアからの救済措置を得る際、ライはターゲットに近づかないプレーライン上に再配置される（ディレクターによって通告された特別の救済措置を除く）。

806.04 救済エリア

- A. 救済エリアは、プレー不可能とディレクターが指定したエリア、またはインバウンズ内であってもプレーヤーが立ち入りを禁止されているエリアである。救済エリアにディスクが静止した場合、アウト・オブ・バウンズのエリアとしてプレーされるが、ペナルティスローは課されない。

806.05 ハザード

- A. ハザードは、ディレクターが指定したエリアで、ペナルティスローが発生する。
- B. ディスクが完全にハザードに囲まれた状態で、その位置が明確であればハザード内にあるとする。
- C. ハザード内にディスクが静止したプレーヤーは、1投のペナルティスローが課される。そのライは動かすことができない。
- D. ハザード内にあるかどうかを判定する前にプレーヤーがディスクを動かした場合は、ディスクはハザード内にあると見なされる。

807ホールの完了

- A. ターゲットは、ホールの完了を明確にすることを目的とした装置である。バスケットターゲットは、ディスクをキャッチするように設計されており、一般的にトレイ、チェーン、および支柱に取り付けられたチェーンサポートによって構成される。オブジェクト（構造物による）ターゲットには、通常、ターゲットエリアの目印がマークされる。
- B. バスケットターゲットでホールを完了させるには、プレーヤーの投げたディスクが、チェーンサポートの下にあるチェーンまたはトレイに支持された状態で静止しなければならない。
- C. オブジェクトターゲットでホールを完了させるには、プレーヤーの投げたディスクが、目印のついたターゲットエリアに当たらなければならない。

808スコア

- A. スコアカードの最初に記載されているプレーヤーは、グループのスコアカードをピックアップする第一義的な責任を負う。
- B. 一人のプレーヤーまたはボランティアのスコアキーパーがスコアをつけることに対し、グループ内のすべてのプレーヤーが認めた場合以外は、グループ内で均等にスコアをつけ合う。
- C. スコアキーパーは、各ホールが終了する毎にグループ内のすべてのプレーヤーのスコアを確認して記録する。いかなる警告またはペナルティスローも、ホールのスコアと一緒に記録しなければならない。
- D. ホール上のプレーヤーのスコアはペナルティスローを含むスローの総数である。ラウンドのトータルスコアは、すべてのホールスコアと追加のペナルティスローの合計となる。数字に誤りがあったスコア（スコアの記入漏れを含む）は、808.G.2で後述するように、ペナルティの対象となる。
- E. プレーヤーが報告したスコアについて意見の相違がある場合、グループ内でホールを振り返り、正しいスコアに到達するよう努める。グループ内でコンセンサスが得られない場合は、速やかにオフィシャルまたはディレクターの判定を仰ぐ。グループ内のすべてのプレーヤーが、スコアの間違いに同意した場合、スコアカードが提出される前に修正されなければならない。
- F. すべてのプレーヤーは、割り当てられたグループがラウンドを終了した時点から30分以内にスコアカードを提出する責任がある。定刻までに提出されなかったスコアカードを所有するプレーヤーには、2投のペナルティスローが課される。
- G. スコアカードの提出後、以下の状況を除いて、記録された合計スコアは最終的なものとなる：
 1. ディレクターは、トーナメントの終了を宣言するまで、あるいはすべての表彰が終わるまで、ペナルティスローを追加または削除することができる。
 2. 合計スコアの計算間違い、もしくはホールのスコアの間違い、不正なスコアが記録された、または記入漏れがあった場合は、正しい合計スコアに2投のペナルティスローが加算される。これらのペナルティスローは、スコアカードを提出した後にすでに他の違反によって正しいスコアに補正された後であれば追加されない。

809その他のスロー

809.01 スローの放棄（アバנדانس）

- A. プレーヤーは、グループ内に宣言してスローの放棄を選択することができる。放棄されたスローに1投のペナルティスローがスコアに加算され、プレーヤーは放棄されたスローが行われたライからプレーを続行する。放棄されたスローの際に生じたペナルティは除外される。
- B. 特定のホールにおいてスローの放棄に対するドロップゾーンが指定されている場合、プレーヤーは直前のライの代わりにそのドロップゾーンから投げることができる。

809.02 暫定スロー

- A. 暫定スローは、最終的にホールアウトに使用されない場合、プレーヤーの得点に加算されない追加のスローを指す。プレーヤーは、暫定スローであることをグループ内に宣言しなければならない。
- B. 暫定スローが使用される状況：
 1. 時間の節約のため、プレーヤーはいつでも暫定スローを宣言することができる：

- a. ディスクの状態が、ロスト、アウト・オブ・バウンズ、マンドトリー失敗などの可能性がある、すぐには判断することができない場合。そして、
 - b. グループ内で、暫定スローが時間を節約できることに同意した場合。プレーヤーは、2つのスローのうち、グループ内またはオフィシャルから正しいと判定を受けた方のライからプレーを続ける。
2. 異なる結果のライが生じた場合、判定に異議を申し立てられる。グループ内の判定に同意できない、オフィシャルが近くで容易に見つからない、またはグループ内のプレーヤーがオフィシャルの決定に異議を申し立てた場合、暫定スローとセットでホールを完了する。この場合、両方セットのスコアを記録しなければならない。異議が解決された場合、正しい方のスコアのみが採用される。

809.03 練習スロー

- A. 練習スローは、使用しないディスクを脇に置いたり、ディスクをプレーヤーに返すための空中5m以下のスローを除いて、競技中にライの変更を目的としないスローである。ディスクを落とした行為は、練習スローとはならない。
- B. 練習スローを行ったプレーヤーは、1投のペナルティスローが課される; 練習スローそれ自体は無視されスコアには加算されない。

810干渉

- A. スローされたディスクがインバウンズ内に静止した後に動いた場合、グループ内の合意に基づき、最初に静止した場所に戻す。その他の場所で静止したディスクは戻すことができない。その位置はグループ内の合意によって、最初にどこに静止したかに基づく。
- B. マーカーディスクが動いた場合は、グループ内で合意した元の位置に戻す。
- C. ディスクが人や動物に当たった場合は、ディスクが最初に静止した地点からプレーを続ける。
- D. プレーヤーまたは同プレーヤーの道具が自身が投げたディスクの進路に干渉した場合、違反になる。当該スローと1投のペナルティスローが同プレーヤーのスコアに加算され、直前のライからプレーを継続する。当該スローによって発生したその他のいかなるペナルティスローも無視される。ディスクが投げたプレーヤーの要求によって干渉された場合、同プレーヤー自身が投げたディスクに干渉したと見なされる。
- E. ディスクの進路が投げたプレーヤー以外の誰かに故意に変更された場合、グループが合意する接触した地点をそのディスクの位置とする。プレーヤーは、その位置をライにしてスローを続けるか、ペナルティスローなしでスローを放棄する(その場合、放棄したスローは同プレーヤーのスコアには加算しないか)を選択できる。
- F. 次のいずれかの方法で意図的にディスクに干渉したプレーヤーは、2投のペナルティスローが課される：
 1. スローされたディスクの進路を変更する。(人への傷害を防ぐ以外での)
 2. スローされたディスクまたはマーカーディスクの移動、または隠す行為。(識別、搜索、マーキング、または810.Hで許可されている場合を除く)
- G. プレーヤーまたは自身の道具がスローに干渉した場合、プレーヤーは1投のペナルティスローが課される。ディスクは直前のライからスローを続ける。意図的な干渉(妨害等)については810.Eを参照のこと。
- H. プレーヤーは、プレー中のディスクを妨げる可能性がある場所に立ったり、道具を置いてはならない。プレーヤーは、スローに干渉する可能性があるれば、他のプレーヤー自身や道具の移動を要求することができる。これを拒否することはマナー違反である。

1. 他のプレーヤーによって投げられたディスクが、自身のプレー中のライ上または後方に静止した場合は動かすことができる。自身が投げた後、他のプレーヤーのディスクは、グループの合意に基づき静止した位置に戻される。

811ミスプレー

- A. コースを正しくプレーすることはプレーヤーの責任である。プレーヤーは、プレーヤーズミーティングに参加し、追加のホール、代替のティーエリア、代替のホール配置、アウト・オブ・バウンズ・エリア、マンドトリーおよびドロップゾーン等、コース上に存在する可能性のある特別な条件について、プレー開始前に理解しておく必要がある。
- B. ミスプレーは、次の場合に発生する。プレーヤーがコースのすべてのホールを正しく、適切な順序で完了しなかった場合、またはスローのために間違っただけからスローを行った場合。
- C. スコアカードを提出後にミスプレーが発見された場合、そのプレーヤーは2投のペナルティスローが課される。
- D. スタンス違反や練習スローは、ミスプレーとは見なされない。
- E. 競技に有利になるよう意図的にミスプレーをしたプレーヤーは、競技マニュアルのセクション3.03に従って失格となる場合がある。
- F. ミスプレーの種類：

1. 間違っただけのライ：プレーヤーが正しくないライからプレーした以下のような場合。
 - a. 実際のホールの正しいティーエリアではない別のティーエリアからティーショットをした。
 - b. スローしたディスクとは別のディスクによって確立されたライからスローをした。
 - c. アウト・オブ・バウンズにあるディスクを、インバウンズにあるかのようにスローをした。
 - d. マンドトリー失敗だったにもかかわらず、そのライからスローをした。
 - e. 救済エリアに入っていないのに、救済エリアからのようにライを取ってスローをした。

ミスプレー後に次のスローが行われていない場合、そのスローは除外される。プレーヤーは正しいライから続行し、1投のペナルティスローが課される。もしミスプレー後にそのままスローを続けて行なった場合、プレーヤーはプレーを継続してホールを終了させ、ミスプレーに対して2投のペナルティスローがスコアに加算される。

2. 間違っただけのターゲット：プレー中のホールの正しくないターゲットでホールアウトした際、次のスローが行われていない場合は、そのライ（間違っただけのターゲットの場所）から引き続きプレーを続ける。ターゲットがバスケットターゲットの場合、ディスクはプレー地表面上にあるとし、805.01.Cに従ってプレーを進める。プレーヤーが次のホールでティーショットした後の場合は、ミスプレーをしたホールのスコアに2投のペナルティスローがスコアに加算される。
3. ホールアウトの失敗：プレーヤーがラウンドを終了、あるいは前のホールを完了しなかった場合、ミスプレーをしたホールのスコアは、スロー数の合計にホールを完了しなかった1投と、ミスプレーの2投のペナルティスローがスコアの合計に加算される。意図的にホールアウトしない場合は、試合から離脱したと見なされる。
4. 非連続的プレー：プレーヤーがホールの順序を間違っただけでホールアウトした場合、プレーヤーは適切なコース順序でプレーを続行しなければならない。ラウンド中に間違っただけの順序でプレーをしたホールの数にかかわらず、ミスプレーの2投のペナルティスローがスコアの合計に加算される。ホールアウトしたスコアは成立する。
5. 不在：割り当てられたグループのラウンドの開始時にプレーヤーが姿を見せない場合、同プレーヤーは不在と見なされ、そのホールはプレーできない。直前のホールをプレーしなかったプレーヤーが、次のホールでグループが開始する準備ができていない時点で姿を見せない場合も、同プレーヤーは不在と見なされる。不在プレーヤーは、プレーしなかったホール毎に、パーに4投のペナルティスローを加えたスコアが課される。パーはディレクターがを設定する。

6. 行方不明：あるグループに帯同するプレーヤーが、投げる順番になった時に行方不明ならば、同プレーヤーは当該グループに復帰するために30秒間与えられる。その後も同プレーヤーが行方不明である場合、同プレーヤーはそのホールに不在であると見なされ、そのホールはパーに4投のペナルティスローがスコアに加算される。
7. 割愛されたホール：プレーヤーがラウンドを完了し、1つないし複数のホールをホールアウトしていなかった場合。プレーヤーは、それぞれのホールにつき、そのホールのパーに4投のペナルティスローがスコアの合計に加算される。
8. 間違ったホール：プレーヤーが、ラウンドのコースの一部であるホールではなく、そのラウンドのコースの一部とは違うホールをホールアウトした場合、2投のペナルティスローがスコアの合計に加算される。
9. 余分なホール：プレーヤーが、そのラウンドのコースに含まれていないホールをホールアウトした場合、2投のペナルティスローがスコアの合計に加算される。余分なホールでのスローはカウントされない。
10. 開始ホールまたはグループの間違い：割り当てられたグループとは違うグループでプレーを開始した場合、同プレーヤーは、プレーを開始するために同プレーヤーに割り当てられたグループを見つけない限りならぬ。間違ったグループに入ったプレーヤーによるいかなるスローも無視される。同プレーヤーは、割り当てられたグループに不在のためペナルティスローの対象となる。
11. 間違ったホールからの開始：グループが割り当てられたホール以外のホールからプレーを始めた場合、同グループ内のいずれかのプレーヤーがそのホールで2回以上のスローをしていれば、同グループ全体がそのホールをミスプレーしたものとして、同グループはそのホールを終了し、各プレーヤーにそのホールのスコアに2投のペナルティスローを加算する。もしくは、スローを1回だけ行ったプレーヤーはそれぞれ1投のペナルティスローを受け、そのスローは無視される。その後、同グループは正しいホールに進みラウンドを継続する。

812礼儀 (マナー)

A. プレーヤーは、以下について注意する。

1. スローをする周辺にいる人を傷つけたり、他のプレーヤーの注意をそらす可能性がある場合はスローをしない。
2. 同意なしに、または他のプレーヤーに影響を与えそうな場合は、スローをしない。
3. 次のような他のプレーヤーの気を散らしたり、スポーツマンらしくない行為は行わない：
 - a. 叫ぶ (当たる危険性がある人への警告は除く)
 - b. 罵る
 - c. 公園内やコース内の用具、他のプレーヤーの道具を叩いたり、蹴ったり、放り投げたりする
 - d. 他のプレーヤーがスローをしている間に動いたり話をしたりする
 - e. ターゲットから遠くにいるプレーヤーよりも前方に出る
4. 他のプレーヤーの注意をそらしたり、投げたディスクを妨げたりする可能性のある場所に道具を置かない。
5. 吸殻を含む煙草
6. 煙草の煙が他のプレーヤーの邪魔をしない。

*JPDGAではラウンド中の喫煙はマナー違反となる。

B. プレーヤーは、以下について遵守する。

1. 次のような、ルールによって予想される行動を実行する。
 - a. 紛失したディスクを探す手助けをする
 - b. 要請されたときは道具を移動する
 - c. スコアを正しくつける
2. ルールの遵守とロストディスクの検索を手伝えるよう、グループの他のメンバーのスローを見守る。

- C. プレーヤーは、マナー規則の最初の違反については警告を受ける。同じラウンド内に再度行われた違反は、いずれも1投のペナルティスローが課される。マナー違反は、影響を受けたプレーヤーまたはオフィシャルによって呼び出されたり、確認されることがある。度重なるマナー違反は、ディレクターによって失格の対象となり得る。

813 装備

813.01 不正なディスク

- A. プレー中に使用されるディスクは、PDGAによって承認され、さらにPDGA技術標準に定められた全ての条件を満たす必要がある。承認ディスクの一覧は、pdga.com/technical-standards/equipment-certification/discs を参照。
- B. 製造後に許されるディスクの修正は：
1. プレーの最中にできた損傷
 2. 損傷もしくは成形上の小さな欠陥を取るための適度な研磨
 3. 染料または油性ペンで印をつけることに限られる。
- C. 上記以外の修正をしたディスクは、不正なディスクとされる。限定はしないが、例えば以下の修正を含む：
1. 本来の飛行特性を改変する目的でディスクを修正すること
 2. ディスクを過度に研磨すること
 3. ディスクを切り刻んだり掘り込んだりすること
 4. 塗料など検出可能な厚さの素材を付け加えること
- D. 夜間または雪中でのプレーをディレクターが発表した場合、プレーヤーはディスクを見つけるために役立つ素材または器具を付け加えることができる。
- E. ひび割れたり、穴の空いたディスクは不正である。
- F. 他のプレーヤーまたはオフィシャルから疑問視されたディスクは、ディレクターの承認を受けなければ不正となる。
- G. プレー中に不正なディスクを投げたプレーヤーは、2投のペナルティスローが課される。不正なディスクを繰り返し投げたプレーヤーは、PDGA競技マニュアルのセクション3.03に従って失格になる場合がある。
- H. ミニマーカーディスクを除いて、プレー中に使用されるすべてのディスクには、自分のものとわかる印をつける必要がある。印が付けられていないディスクをスローしたプレーヤーは、最初に警告を受ける。印が付けられていないディスクを続けてスローした場合は、1回のスロー毎に1投のペナルティスローが加算される。

813.02 不正な装置

- A. プレーヤーは、スローそのものを補助する装置を使用してはならない。
- B. 方向を定める目的で物を置くことはできない。
- C. 擦り傷から皮膚を保護する装置(手袋、テープ、包帯、ガーゼなど)、グリップを向上させるために皮膚に塗布する品目(滑石、チョーク、土埃、泥など)や、医療器具(膝や足首のサポーターなど)の装着は認められる。

- D. タオルやパッドなどをライに敷く場合、圧力を加えた時に厚さが1cm以下であれば支持点の上に置くことができる。
- E. 他のプレーヤーまたはオフィシャルから疑問視された装置は、ディレクターの承認を受けなければならない。
- F. ラウンド中の任意の時点で不正な装置の使用が確認された場合、プレーヤーは2投のペナルティスローが課される。不正な装置を繰り返し使用したプレーヤーは、PDGA競技マニュアルのセクション3.03に従って失格になる場合がある。

付録 A マッチプレー

A.01 総論

- A. マッチプレーでは、各ホールを勝つことを目的に選手が1対1でラウンドを競う。より多くのホールを獲得したプレーヤーが試合に勝利する。
- B. 以下のルールによって置き換えられる場合を除き、PDGAの公式ルール(メダルプレー)が適用される。
- C. 対戦ペアは、少なくとも他の1組の対戦ペア、またはオフィシャルのペアとグループでプレーする。

A.02 プレーの順番

- A. 同じグループ内の対戦ペアのティースローの順番は、スコアカード上に記載された順番に従う。
- B. 対戦ペアごとに、最初のホールの投げ順は、スコアカード上に記載された順番に従う。その後のすべてのホールで、前のホールでスコアが良かったプレーヤーが先にスローする。タイの場合、スローの順番は変わらない。

A.03 ペナルティ

- A. プレーヤーは、対戦相手のみに違反をコールするか、警告することができる。グループのまたはオフィシャルの他のどのプレーヤーもコールを確認できる。
- B. ホール内で確認されたペナルティと警告は、次のホールに持ち越される。

A.04 得点

- A. マッチプレーでの得点は、どちらのプレーヤーがより多くのホールに勝利したか、ポイントによって記録される。マッチプレーは、同スコア、またはオールスクエアで開始される。試合が進むにつれて、より多くのホールに勝利したプレーヤーは、それらの数を「アップ」しているとし、対戦相手は、それらの数のホールを「ダウン」しているとする。
- B. プレーヤーは、相手より少ないスロー数でホールを完了することでホールを獲得する。ホールを獲得したプレーヤーは、得点1となる。相手側のプレーヤーは得点ではなく、斜線(ダッシュ)で示される。2人のプレーヤーが同数のスローでホールを完了した場合、そのホールは引き分けとなり、どちらのプレーヤーも得点とはならない。
- C. プレーヤーは、現在行なっているホールで何投スローしたかを相手に尋ねることができる。その数を誤って報告したプレーヤーは、そのホールは負けになる。

A.05 合意

- A. プレーヤーは、試合が終わる前であっても、負けを認めてもよい。対戦相手の勝利となる。
- B. プレーヤーは、両方のプレーヤーがホールを完了する前であっても、いつでも負けを認めてもよい。対戦相手の勝利となる。
- C. プレーヤーは、相手の次のスローの省略を認めてもよい。相手はホールを完了したとみなされる。
- D. 対戦ペア同士で、プレー中のホールを引き分けにすることを同意できる。
- E. お互いの譲歩は、拒否したり撤回はできない。

A.06 試合の勝敗

- A. 一方のプレーヤーが残っているホール数よりも多くのアップ数を得た場合、そのプレーヤーがマッチプレーに勝利したとする。
- B. 対戦ペアがラウンド終了時に全く同スコアである場合、試合はタイに持ち越される。ディレクターは、どのようにタイを決着させるかを決定する。

ダブルスとチームプレー

B.01 総論

- A. ダブルスチームは2人の選手で構成される。以下のルールから推定し、異なるチーム人数による代替フォーマットも可能である。
- B. 以下のルールによって置き換えられた場合を除き、PDGAの公式ルールが適用される。

B.02 プレーの順番

- A. 最初のホールの投げ順は、スコアカード上に記載された順番に従う。その後のすべてのホールで、前のホールでスコアが良かったチームが先にスローする。タイの場合、スローの順番は変わらない。
- B. すべてのチームがティーエリア以外のライに静止した後は、ターゲットから最も遠いチームからスローする。
- C. チームメンバーは同じライからスローをし、どちらの順番でスローしてもよい。

B.03 ペナルティ

- A. スローによるペナルティは、スローを行ったチームのメンバーにのみ適用される。他のすべての警告および罰則は、チーム全体が負うものであり、形式にかかわらずチームに対して課される。
- B. チームの得点を向上できないと分かっている行なったスローは「余計なスロー」とする。メンバーが余計なスローを行ったチームは、最初の違反について警告を受け取り、その後はチームのいずれかのメンバーによる違反毎にペナルティスローが課される。

B.04 ライ

- A. チームメンバーの両方が同じライからスローするフォーマットにおいて、最初のメンバーがスローしたライ以外から行なったスローはミスプレーとなり、1投のペナルティスローが課される。
- B. チームメンバーの両方がプレーしているライは、同じマーカードィスクを使用してマークする必要がある。
- C. チームメンバーの両方がプレーしているライが何らかの理由で動かされた場合、メンバーの両方ともに元のライからプレーしなければならない。

B.05 フォーマット

- A. ベストスロー
 1. 両方のチームメンバーがティーエリアからスローする。次にチームは、次のスローを2つのポジションのどちらからプレーするかを選択する。チームメンバーの両方が決定したライからスローし、再び2つのポジションのどちらかを選択してプレーを続け、それを繰り返す。
 2. チームメンバーのどちらかがホールを完了すると、そのホールが完了となる。
 3. ホールでのチームの得点は、プレーされたライ上のスロー回数とペナルティスローの合計となる。
 4. スローされたディスクを、ライが選択される前やマーカードィスクでマークされる前にピックアップした場合、チームはそのスローを選択できない。チームがライをマークせずにスローしたディスクの両方をピックアップした場合、2番目にピックアップされたディスクがグループで合意した元の位置に戻され、そのライからプレーされなければならない。
 5. 一方のチームメンバーが不在、遅刻、または脱落した場合、他のチームメンバーはプレーできるが、不足したメンバーの代わりにはスローできない。遅刻したチームメンバーは、ホール間でのみプレーに参加することができる。
- B. 変則ベストスロー
変則ベストスローはベストスローと同じだが、次のようなバリエーションがある。ディレクターは、チームの各メンバーのティースローの回数を制限できる。チームは、その限界を超えるたびに2投のペナルティスローが課される。

C. ワーストスロー

1. チームメンバーの両方がティーエリアからスローする。対戦相手のスコアが悪くなるように、次のスローを2つのポジションのどちらからプレーするかを相手チームが選択する。両方のチームが決定されたライから次のスローをし、対戦相手が再び2つのポジションのどちらかを選択してプレーを続け、それを繰り返す。
2. チームメンバー全員が同じライからホールを完了すると、チームはホール完了となる。
3. ホールでのチームの得点は、プレーされたライ上のスロー回数とペナルティスローの合計となる。
4. 対戦相手がライを選択する前に、スローしたディスクを拾い上げたり、またはマークした場合、そのディスクはグループで合意した元の位置に戻される。対戦相手は、ディスクが動かされた結果としてのライ、他のディスクのライ、および動かされたディスクの元のライを選択できる。
5. 対戦相手が明確に有利なライを選んだ場合、ディレクターによって失格になることがある。
6. チームメンバーが不在、遅刻、棄権、または失格になった場合、チームは失格となる。

D. タフスロー

タフスローはワーストスローと同じ形式だが、次のようなバリエーションがある。チームメンバーのいずれかがホールを完了すると、チームはそのホールを完了する。

E. オルタネートスロー

1. チームは、どのメンバーが最初のホールにおいて最初にスローするかを選択する。その後、各チームメンバーは、前のメンバーのスローしたライからプレーを続ける。
2. いずれかのチームメンバーがホールを完了すると、ホールは完了となる。
3. ホールでのチームの得点は、プレーされたライ上のスロー回数とペナルティスローの合計となる。
4. 間違えたチームメンバーがスローした場合はミスプレーとなり、1投のペナルティスローが課される。そのスローはカウントされず、正しいチームメンバーがスローをする。間違えたチームメンバーが投げた後に追加のスローが行われた場合、チームは2投のペナルティスローが課され、プレーを続ける。
5. 同じライからのリスローの場合は、同じプレーヤーがリスローを行う。
6. チームメンバーが遅刻、または不在のホールについては、パー・プラス4のスコアとなる。チームメンバーが棄権した、または失格となった場合、そのチームは失格となる。

F. 変則的オルタネートスロー

1. 変則的オルタネートスローは、オルタネートスローと同じだが、次のようなバリエーションがある。ディレクターは、どのチームメンバーが各ホールに最初にスローするかを指定できる。

G. ベストスコア

1. 各チームメンバーは、個々のプレーヤーとしてホールをプレーする。
2. チームメンバーがチーム内での最小スコアでホールを完了すると、チームはホールを完了する。
3. 各ホールのチームのスコアは、チームメンバーのいずれかによる最小スコアであり、各個人のペナルティスローとチームのペナルティスローが含まれる。

H. オルタネートライからのベストスコア

1. 各チームメンバーはティーエリアからスローする。その後、各チームメンバーは、他のチームメンバーのライからスローを続ける。
2. チームメンバーがチーム内での最小スコアでホールを完了すると、チームはホールを完了する。
3. 各ホールのチームのスコアは、チームメンバーのいずれかによる最小スコアであり、各個人のペナルティスローとチームのペナルティスローが含まれる。

付録 C
換算

ルールに記載されているすべての寸法は、メートル法で表記されている。次の英国表記に相当するものは、メートル法の測定用具がない場合は次の換算法を用いる。

メートル法	英国表記
10メートル	32 フィート 10インチ
3メートル	9 フィート 10インチ
2メートル	6 フィート 7インチ
1メートル	3 フィート 3インチ
30センチメートル	1フィート
20センチメートル	8インチ
1センチメートル	1/2インチ

付録 D
索引

アウト・オブ・バウンズ	806.02
インバウンズ	806.02.A
動かせる障害物	803.01.B.1
オフィシャル	801.02.F
カジュアルウォーター	806.03.A
カジュアルエリア	806.03.A
救済エリア	806.04.A
グループ	801.02.A
警告	801.02.D
構造物のターゲット	807.A
暫定スロー	809.02.A
支持点	802.04.B
シングルマンダトリー	804.01.A
スロー	802.01
スローの放棄	809.01
ターゲット	807.A
ダブルマンダトリー	804.01.A
ティーエリア	802.04.A
ティーライン	802.04.A
ディレクター	801.02.G
トーナメントオフィシャル	801.02.F
遠い方のプレーヤー	802.02.C
ドロップゾーン	802.05.C
2メートルルール	805.02.A
パー	811.F.5
ハザード	806.05.A
バスケットターゲット	807.A
パット	806.01.A
プレーヤーズミーティング	811.A
プレーライン	802.05.D

プレーエリア	802.05.A
ペナルティスロー	801.02.E
ホール	800
ポジション	805.01.A
マーカー	802.05.D
マーカーディスク	802.05.D
マンダトリーライン	804.02.A
マンダトリー構造物	804.01.A
ミスプレー	811.B
ミニ、マーカーディスク	802.06.B
ライ	802.05.A
ラウンドの完了	808.F
リスロー	802.02.D
練習スロー	809.03.A

PDGA™



ディスクゴルフ公式ルールブック(2022年改定版)

発行日: 2022年1月1日

監修: 日本ディスクゴルフ協会 ルール委員会

翻訳: 諸岡通容、木下実(静岡県ディスクゴルフ協会)

発行: 日本ディスクゴルフ協会

〒860-0088

熊本県熊本市北区津浦町13-47

Tel&Fax 096-200-2336

HP www.jp-dg.jp

© Copyright 2022 Japan Disc Golf Association (JPDGA)

Revised January 1, 2022

Copyright

Full copyright to this book and any iteration of its contents is reserved by the PDGA. Copies of this book are sold to cover costs of production and may be obtained from the PDGA office or at www.pdgastore.com. PDGA-affiliated associations are permitted to translate these rules into their own language provided the rules are not altered or contradicted. The PDGA Executive Director must be notified of such translation and publication and must receive a copy.

The PDGA is a non-profit organization under US IRC Section 501(c)(4) and its incorporated business office is located at:

Alamo Corporate Center
102 S. Tejan Street, Suite 800
Colorado Springs, CO 80903

PDGA Administrative Offices
International Disc Golf Center
3828 Dogwood Lane
Appling, GA 30802
www.pdga.com
www.pdgastore.com
office@pdga.com
706.261.6342
706.261.6347 (fax)

Project Credits

Much appreciation is due the PDGA Rules Committee members who helped with this revision:

Mike Krupicka (chair)
Todd Lion
Laura Nagtegaal
Conrad Damon
Holly Finley
David Foss
Ville Kotamäki
Jason LaBella
Steve West

Cover art: Jennie Weigand

Cover photos: Hayden Henry, Drew Hierwarter, Kevin Huver, Conrad Meyer, Matthew Rothstein, John Whinery
Typography: Neal Dambra

Suggestions for improvements to the next revision should be made to the PDGA Rules Committee, who can be reached at rules@pdga.com

PDGA ルール : Q&A

ルールの適用

QA-APP-1

Q : 1つ以上の違反に該当する場合、ペナルティルールが適用される優先順位はありますか？

A : はい、最も厳しい方のペナルティが適用されます。最初に何が起こったかによって結びつきは切り離されます。1回のスローにおいて、複数の違反について罰せられることはありません。

QA-APP-2

Q : 1回のスローにおいて複数の違反があったとき、ディスクが停止するまでの間に最初のルールに違反し、どのルールに違反しなかったかはどのように判定され、適用されますか？

A : ルール上に書かれた「最初に」の意味は、共通の理解として、ディスクがルール違反に該当する状態になった最初の時点を表しています。よくある1回のスローの間に同時に2つの違反となりやすいケースは、アウト・オブ・バウンズ(OB)とマングトリーです。ディスクが制限された空間を通過すると直ちにマングトリー失敗と見なされますが、一方でディスクは静止するまでOBとは見なされません。したがって、その場合はマングトリーの失敗が最初に発生したと判断することになります。

QA-APP-3

Q : 私は、グループの別のプレーヤーによって行われたルール判定にアピールする(異議を唱える)ことができますか？

A : はい。その場合、判定を受けたプレーヤーは暫定スローをすることを選ぶことができます。

QA-APP-4

Q : 私のグループは、私のディスクがOBであると判断しました。しかし私はそれが明確だとは思いません。「疑いがある場合はプレーヤー有利に」ではないでしょうか。私はセーフですよ？

A : 「疑いがある場合はプレーヤー有利に」というのは、プレー中にグループが判断をすることができない場合のみ機能します。例えば、2人のプレーヤーがセーフと見なし、2人がそれをO

Bと見なした場合です。もし、あなたのグループの過半数がOBであると判断したならば、それはOBです。

QA-APP-5

Q : 私のグループは、間違っただルール判定をしました。実際には私はOBだったのに、彼らはセーフと判定し、それに従って私は間違っただライからプレーしました。私はペナルティを課せられますか？

A : あなたはコースを適切にプレーする責任があります。あなたがグループ内の決定に同意できず、またオフィシャルがすぐに駆け付けられないような場合は、暫定プレーを行って後にトーナメントディレクターの判断を仰いでください。

QA-APP-6

Q : もし、非公認のトーナメント、その他のPDGA公認以外の試合において私がプレーするとしたら、どんなルールが当てはまりますか？

A : PDGAルールが当てはまるのが発表された場所でああなたがイベント参加しているならば、イベント自体がPDGAに承認されているかどうかにかかわらず、PDGAのオフィシャルルールが当てはまります。競技マニュアルはPDGAイベントのみに当てはまります。もし、ルールについての発表が全くなされなかったのならば、あなたはPDGAルールを含むどのルールでプレーするか、あなたのグループ内か、またはイベント参加者で合意を取ればよいのです。

QA-APP-7

Q : もし、トーナメントディレクターいなくなったらどうなりますか？

A : すべてのPDGA公認のトーナメントには、トーナメントディレクターが存在します。非認定のイベントや仲間内のプレーのために、もしプレーヤー以上の権限を持っている誰かがいたならば、彼らはディレクターの責任を引き受けることができます。もし、誰もディレクターになりたくないなら、あなたはディレクターの機能のうちのいくつかがない状態でプレーする必要があります。例えば、グループ内のルール判定に対して一切アピールする(異議を唱える)ことができません。ただし、いくつかのディレ

クター機能は他の方法で可能になります。例えば、コースに設置された看板は、ホールのプレー順序、OBの箇所を。その他はプレーヤーズミーティングやキャディーブックで、普段はカバーされるでしょう。

QA-APP-8

Q：私のプレーするグループ内の全員が公認されたオフィシャルの資格保持者です。ルール上では、グループのうちの2人のプレーヤー、または1人のオフィシャルのいずれかがルール判定をする必要があります。私たちはすべてオフィシャル資格者なので、私たちのうち1人でも、これらのルール判定を行うことはできますか？

A：いいえ。トーナメントのプレー中にルール判定を行うためには、あなたはトーナメントディレクターによって、トーナメント・オフィシャルに認定されていなければなりません。テストに合格するだけでは、あなたはトーナメント・オフィシャルではありません。(オフィシャルであるための規則を参照)さらに、オフィシャルは、彼らがプレーしているかいないかによって、ルール判定を行う上で制限があります。プレーしているオフィシャル資格者(トーナメントディレクターを含む)は、自分の部門のプレーヤーに影響する1人のオフィシャルとしての行為はすることができません。プレーしていないオフィシャル資格者は、「オフィシャルがルール判定することができる」と表記してあるルール判定ができる1人となることができます。スポッターは、もしオフィシャル資格者でもあるならば、(例えば、ディスクがOBとなったポジションに関する)ルール判定を行うことができます。もし、彼らがオフィシャル資格者ではないならば、彼らのルール判定は、あくまでグループが意思決定するための参考意見とされます。

QA-APP-9

Q：プレーヤーは自分自身をコールしたり、自分自身へのコールを承認することはできますか？

A：はい。

QA-APP-10

Q：ビデオやその他のメディアは、ルール判定を行う証拠として使うことができますか？

A：PDGAの方針では、競技マニュアルのセクション3.03で定義されるとおり、ビデオによる証拠はプレーヤーの不正行為を記録するためにのみ使用できます。プレーヤー不正行為の証拠はPDGA懲戒委員会によっていつでも評価できます。トーナメントのプレー中のルール判定に

は、ビデオその他のメディアの使用は許されていません。

スロー

QA-THR-1

Q：私の投げようとした手がバックスイングの途中で木の枝にぶつかってディスクが地面に落ちました。そして、ディスクが私のライの前方に転がりました。これはスローとみなされますか？

A：いいえ。スローは、意図された方向へのディスクの移動が開始された時点で始まります。バックスイングの前または最中に叩き落されたディスクは、スローまたはカウントされません。

QA-THR-2

Q：ディスクを投げる方法に何か制限はありますか。例えば、オーバーハンドで投げることはできませんか？

A：ディスクを投げる方法に制限はありません。あなたは、バックハンド、サイドアーム、オーバーハンド、サマー、またはあなたが思いつく他の方法でスローすることができます。もし望むのなら、足を使って投げることもできます。

時間超過

QA-TIM-1

Q：もし、次に投げるべきプレーヤーが不在の場合、他のプレーヤーが前に進んでスローすることができますか？ これは不在のプレーヤーが現れるまで時間稼ぎを与えることになりませんか？

A：いいえ。不在のプレーヤーが投げるまで30秒間待った後に、次のプレーヤーはスローします。もし、その時まで不在のプレーヤーが現れなかったなら、彼はそのホールでパープラス4投を記録されます(本質的に、そのプレーヤーはスタートホールに遅れているのと同様、そのホールに遅れているからです)。

ティーオフ

QA-TEE-1

Q：ティーエリアはどのように表示されますか？

A：ディレクターは、ティーエリアとドロップゾーンを定義するために、いくつかの方法のう

ちのいずれも使用できます。ひとつのコースに数種類のティー表示を使うこともできます。紛らわしい場合は、ディレクターに尋ねてください。ティーエリアを明示するためのいくつかの共通の方法があります；もし、人工的なティーパッドが敷かれてマークが全然されていないならば、ティーエリアは、色、高さおよび（または）素材がその周囲の環境と異なっているエリアです。ティーパッドの前方にフォロースルーエリアが設けてあることがあります。フォロースルーエリアは、違う色のこともあります、または、それはティーラインの前の部分にマークされる場合もあります。フォロースルーエリアの後ろにあるパッドの部分がティーエリアです。もし、アウトライン（輪郭線）が（4個のマーカまたはマーカ以外で）マークされているならば、ティーエリアはアウトラインの内側のエリアです。もし、マーカが使われるならば、ティーエリアはマーカの外の縁で形成されます。もし、人工的なティーパッドが用意されていないならば、ティーエリアは明示されたティーラインの後ろに対し、直角に3メートル伸びています。もし、線でティーラインを表示しているならば、ティーエリアは、表示された線を含みます。もし、2個のティーマーカがティーラインをマークしているならば、ティーエリアは前側と左右側のティーマーカの外の縁までです。もし、ティーの目印のみ、または1個のティーマーカだけが置いてあるならば、ティーは目印またはマーカの後ろ側です。

QA-TEE-2

Q：私は、コンクリートで盛り上げられたティーパッドからドライバーを投げました。私がディスクを手放す瞬間に、私の前足の先が、パッドの前面の縁を超えて宙に浮いていました。これはスタンス違反ですか？

A：いいえ、ルールに「すべての支持点は、リリースの瞬間、ティーエリア内になければならない」と明確に述べられています。「支持点」とは、足のような全身の一部分というより、むしろプレー地表面（この場合、ティーパッド）に接触している何らかの点を示します。ティーパッドの端から宙に浮いている足の部分は、プレー地表面に接触していないので、支持点ではありません。従って違反はしていません。

ライ

QA-LIE-1

Q：私のスローは、OBである小川に架かっている橋に着きました。私は橋の上からプレーできますか？それとも私のディスクがOBである小川の上にあるのでOBですか。もし、地上にかかる橋の上だったらどうなりますか？

A：橋は、プレー地表面が他のプレー地表面の上に垂直に積み重なった場所の一例です。個々のプレー地表面は独立して扱われます。プレー地表面の上部または下部がOBであるかどうかにかかわらず、トーナメントディレクターが橋の上をOBであると宣言しない限り、橋はインパウンズ（セーフ）です。もし、2メートルルールが適用されている場合であっても、あなたのディスクはプレー地表面上にあり、上空ではないので当てはまりません。あなたは橋にライをマーキングし、ペナルティはありません。

マーキング

QA-MAR-1

Q：私のグループ内の経験が浅いプレーヤーが、マーキングするために自分のディスクを裏返して動かし、そこから投げました。ルール判定はどうなりますか？

A：ライをマーキングするために、不適切な方法が用いられたので、それはマーキング違反になります。プレーヤーの最初のマーキング違反は警告を受けることになります。

QA-MAR-2

Q：ミニでライをマーキングした後になって、元々のディスクを元あった位置に戻し、ミニを拾いあげてもよいですか？

A：いいえ、投げられたディスクをいったん拾ったら、マーカとしてそれを使うことはできません。

QA-MAR-3

Q：私のディスクは幹の真上で木の中に引っかかりました。どのようにマーキングすればよいですか？

A：もし、あなたのディスクの直下にマーキングするための余地があるならば、あなたはそうにすべきです。もし、余地がないならば、あなたはプレーラインに沿って後方の直近の位置にマークします。

スタンス

QA-STA-1

Q：「支持点」は、プレー地表面に触れる「プレーヤーの身体のあらゆる部分」と定義されています。しかし、たいいていの場合、プレーヤーの身体とプレー地表面の間に靴などの着衣の層があります。これらも該当しますか？

A: はい。「プレーヤーの身体の一部」という言葉は、衣類だけでなく松葉杖などの移動補助器具（それらがサポートを提供する限り）も含むと解釈されるべきです。

QA-STA-2

Q: 私がパットをしている間、ライの後方にある木の枝や他の物体を掴むことはできますか？

A: あなたのライの後方にある何かを支えとして掴むことは、ルールで禁止されていません。ただ、コースの障害物を可能な限り最小限に動かすようスタンスを取ることを要求されますので、それらを移動してはなりません。人間はコースの一部ではないため、別の人を支えとして掴むことは許されません。

QA-STA-3

Q: 私達のコースには、丘の中腹からフェアウェイに出口のある2本の水平な雨水排水暗渠があります。それは、直径約60センチで、上部にはディスクが入るには十分ではあるが、プレーヤーは通れない大きさの隙間を持つ金属グリルがついています。ディスクがこの中に入った場合、プレーヤーは、「プレー地表面の下のディスク」ルールに従い、ペナルティなしで暗渠内のディスクの場所から垂直に真上にある丘の中腹にマーキングすることができますか？

A: はい。暗渠の内部はプレー地表面ではなく、丘の中腹の面にプレー地表面があります。トーナメントディレクターがこれらの暗渠に入ったディスクを処理する方法に関する方針を提供していない場合、そのプレーヤーはペナルティなしでディスクの場所の直上の丘の中腹にマーキングすることができます。

QA-STA-4

Q: 短いパットをするため、つま先上りのライがあります。私は、私の後ろ足をライおよび前足より前方の地面に置いておき、そして、リリースの直前に私の前足を持ち上げることができますか？ディスクを投げた後、静止姿勢をライの後方で示します。私はこれを「フェードアウェイ」パットと呼んでいます。

A: はい、それは許されます。あなたがディスクをリリースした瞬間のスタンスは合法であり、リリース後もあなたのライ（ホールより近い地点）を超えて行ってはいけません。

障害と救済措置

QA-OBS-1

Q: 私のドライバーはピクニックテーブルの下に入り込みました。私はその後ろからプレーしてもよいですか？それともテーブルの上からでしょうか？

A: 一般的には「いいえ」です。ピクニックテーブルは、他の公園またはコース上の設備とともにコース上の障害物です。それらは、例えば低木または樹木といったどのような他の障害物と同様にみなされることになっています。どのようにあなたが次のスローをするかは、ピクニックテーブルの状態によります。もし、足をテーブル下に差し込むことになってもしっかり下のスタンスを取るための空間があるならば、そうすべきです。もし、あなたのディスクがピクニックテーブルの上にあつて、その下に空間があるならば、それは地面の上空のライであり、あなたはその真下にマークしてそこからプレーします。もし、ディスクが上であり、下に全く空間がなく（例えば、ひと塊のピクニックテーブル）、それが妥当であれば、その上からプレーします。さもなければ、テーブルは堅固な障害物として取り扱い、その後方のプレーライン上にマーキングします。

QA-OBS-2

Q: 大きい折れた枝（直径約30cm長さ約2.4m）が、私のスタンス上にあります。私は、それを動かすことを許されますか？

A: はい、もし、可能であれば。定義に該当するのであれば、移動可能な障害物のサイズに上限はありません。実行可能ならば、それを動かすことができますが、あなたは、時間超過ルールによって許された30秒間以内に投げる必要があります。

QA-OBS-3

Q: 私のディスクが、落ちた大きな木の枝の下に静止しました。その枝は明らかに幹から離れていて、私のディスクの後方から前方へと延びています。この枝を移動できますか？

A: はい。その枝の一部でもスタンスを取る際の支持点を置くであろう場所に掛ければ、例えその枝のもう一方の部分があなたのマーカールの後ろよりもホールに近づいていたとしても、その枝を動かすことに差し支えありません。

QA-OBS-4

Q: 折れて垂れ下がった枝が、私のマーカールのすぐ後ろにぶら下がっていてスタンスを取ることを難しくしています。それは地面に触れていま

せん。私は、それを動かすことを許されますか？私は移動可能な障害物による救済を受けることができますか？

A: いいえ。その枝はあなたのライ（あなたのライはプレー地表面にあります）の後方に落ちていませんので、まだつながっているままの状態の枝と見なされます。あなたはその枝を避けてプレーする必要があります。

QA-OBS-5

Q: 私は、ツタウルシ、ポイズンオーク、イラクサなどの有害植物から救済措置を受けられますか？

A: いいえ、ディレクターがそれらのある場所について救済エリアを宣言しない限り受けられません。それらの植栽はプレーヤーによって異なる影響を与え、めったに重大な健康リスクを生じないと考えられます。もし、ディスクが何らかの植栽に入り、あなたがそこからプレーをしたくないならば、あなたはオプションの救済措置を選ぶか、またはペナルティスローを受けてそのスローを放棄することができます。

QA-OBS-6

Q: 保護されるべき絶滅危惧植物や貴重な植物のあるコース上のエリアに私のディスクが着地した場合、私はどのようにライをマーキングすればよいですか？

A: トーナメントディレクターは、OBあるいは救済エリアを宣言できます。この場合、関連するルールに従ってライをマーキングします。エリアがOBあるいは救済エリアとして宣言されていない場合、あなたは標準的な方法でライをマーキングします。唯一の例外はそこが法律で立ち入ることを禁止されているエリアの場合で、この場合、ペナルティなしで救済措置を受けることができます。あなたは常に1投のペナルティスローを追加されることで、オプションの救済措置を受けること、またはスローを放棄することができることに留意してください。

QA-OBS-7

Q: プレーできないティー、または安全でないティー、または印が消えかかったティーがある場合、どうすればよいですか？

A: ティーに問題がある場合は、容易に取り除くことのできない（水たまりのような）救済エリアであるならば、あなたはティーの後方に救済措置としてライを取るすることができます。その他の不利なティー条件のためには救済措置は与え

られていません。もし、ティーが滑るならば、あなたは摩擦力を得るためにタオルを下に敷くことができます。ティーの印が消えかかっている場合は、ティーエリアの境界を識別するために、可能であれば他のグループの地元プレーヤーや、もしくはオフィシャルを探すことです。

QA-OBS-8

Q: 巨大な蜘蛛の巣が、ちょうど私が投げたい前方にあります。私はそれを払い落とすことができますか？

A: もし、それがあなたのスタンス内にあった場合、それは一般的事項の中の「破片」とみなされ、移動可能な障害物として除去することができます。それがあなたの飛行経路にあるだけなら移動することはできません。

QA-OBS-9

Q: 短くて簡単なホールで、私はティースローを曲げてしまい濃い森の中へと突っ込み、高い木の中に引っかかりました。2メートルルールは有効です。私は、森の中からプレーするよりリティーする（ティーから投げ直す）ことを選びました。私は3投目になりますか？ 4投目ですか？

A: あなたは、自分のティーショットを放棄すると宣言した後に、3投目を投げることとなります。あなたは本来のスロー数をカウントし、そのスローを放棄するための1投のペナルティスローを加算します。放棄されたスローにより生じたペナルティはカウントされません。

QA-OBS-10

Q: 障害物や救済エリアによる救済措置を受けるプレーヤーは、プレーラインに沿って可能な範囲で直近のライに戻ることができます。ディレクターが指定できる「より大きい救済措置」とは何ですか？

A: より大きい救済措置とは、ドロップゾーン、リスロー、またはライを動かすことができる場合などです。救済措置（ペナルティなしでライを動かすこと）は、通常ではない状況のために設定されます。ですのでディレクターは、例外的な状況を扱うための多くの数値が与えられます。

規定されたルート

QA-MAN-1

Q: 私の投げたディスクは、マングトリーの失敗側を通り過ぎて成功側から転がって戻り、そのマングトリーよりも手前に静止しました。私はマン

ダトリーを失敗しましたか？

A: あなたの投げたディスクがひとたび制限された空間を通過したなら、その先の飛行経路は関係ありません。あなたはそのマンガトリーを失敗しました。

QA-MAN-2

Q: 私はマンガトリーを失敗しました。しかし、ドロップゾーンは指定されていませんでした。私のライはどこになりますか？

A: あなたの直前のライまで戻ります。

QA-MAN-3

Q: マングトリーが左向きに記された矢印によって木の幹にマークされていました。その木の幹は2つの大きな幹に分かれています。私のディスクは2つ幹の間の上空を通過しました。マンガトリーを失敗したことになりますか？

A: マングトリー設定は不正確な場合が多いので、それは簡単なルール判定ではありません。あなたのグループは、マンガトリーの対象物が何なのか、言い換えれば2つの上部の幹のうち一本が低い部分の幹の続きであるということのを初めに決定されている必要があります。一度それが確認されたら、マンガトリーの対象物の幹の先端から垂直に上空に伸びていると仮定して、あなたのディスクが通過した軌跡がどちらであるかを判定しなければなりません。

ポジション（ライ）の確定

QA-POS-1

Q: プレー地表面下の裂け目のような手の届かない場所にあるディスクをどのようにマーキングすればよいですか？ ペナルティはありますか？

A: プレー地表面上のディスクに適用されるルールは、プレー地表面下のディスクにも適用されます。あなたが、裂け目にディスクを見つけることができた場合は、ペナルティなしでプレー地表面上に直接ライをマークすることができます。もし、ディスクの真上のポイントが空中または障害物内である場合は、プレーラインに沿って後方の直近にライをマーキングします。

2メートルより上空にあるディスク

QA-2M-1

Q: 2メートルルールはまだ有効ですか？

A: 標準では、2メートルルールは有効ではありません。トーナメントディレクターは、特別な障害のある場合と同様に、2メートルルールをトーナメントで採用することができます。もし、そうした場合は、プレーヤーズミーティングおよび（または）キャディーブックにより公表されます。

QA-2M-2

Q: ターゲットによって支持されたディスクには2メートルルールは適用されません。ティーやコース表示板などのコース上の設備により支持されたディスクはどうですか？

A: それらはターゲットではないので、2メートルルールが適用されます。唯一の例外は、プレーしているホールのターゲットです。したがって、どのような状況に関わらず、あなたがディスクを別のホールのターゲットの2メートルより高い位置にのせたならば、それについては2メートルルールが適用されます。

QA-2M-3

Q: オフィシャルは、私がおの場所に到着して視認する前に、私のディスクがプレー地表面から2メートルより上空にあると判定しました。私がライをマーキングする前に、別のプレーヤーが私のディスクを払い落としました。2メートルルールは有効でした。ルール判定はどうなりますか？

A: オフィシャルがルール判定したので、2メートルルールのペナルティが適用されます。ライは、最初あなたのディスクが引っかかった場所に最も近いとオフィシャルとあなたのグループが判断した場所の真下になります。

ロストディスク

QA-LOS-1

Q: 私のスローは、それが見えなくなった時点でOBである湖に向かっており、私たちはそれを見つけれませんでした。私はそれをロストとしてプレーすべきですか？ それともOBとすべきですか？

A: もしあなたのグループが、ディスクがOBの湖に入ったことに説得力のある証拠があると同意する場合は、そうであったと仮定し、OBとしてプレーします。もし、それが湖に行ったかどうかについて不確実な場合は、ロストとしてプレーします。

QA-LOS-2

Q：私のディスクは、見つからないまま3分間の検索の後にロストと宣言されました。私が直前のライに戻り始めたところ、私達はディスクを見つけました。どうすればよいですか？

A：それは、ロストディスクのままとなります。そして、あなたは直前のライに戻らなければなりません。

パッティングエリア

QA-PUT-1

Q：もし私が、ストラドルパットをするとしたら、私のもう片方の足は私のライと直角なラインに揃える必要がありますか？

A：いいえ。あなたのもう片方の足はあなたのマーカールの後ろとターゲットまでの距離が同じであればよいです。従って、もう片方の足は、マーカール後方の足の真横にある必要はありません。実際のところ、マーカール後方の足はライの後方30cm（ライの長さ）以内で、横方向には10cm（ライの幅20cmの半分）以内に置かれます。（これは、実際もう片方の足が目標より近いかもしれないということです。それはマーカールの真後ろより近くではいけません。また、あなたのマーカールの後方からターゲットへの同じ距離を示す形は、中心がターゲットとなる円形であることを覚えておいてください。

アウト・オブ・バウンズ（OB）

QA-OB-1

Q：私の好きなドライバーがOBエリアに入りました。次のショットをするためにそれを取りに行ってもよいですか？

A：はい、タイムオーバーの規則によって認められた30秒間以内にあなたが次のスローをする限りは可能です。

QA-OB-2

Q：私の1投目は、高い葦で囲まれたOBの池に入って行きました。ディスクが最後にインバウンズであった場所から1メートルのところは、その葦の真ん中です。私はティーに戻ってもよいですか？

A：はい。前のライに戻ることはOBオプションのうちの1つです。代わりに、あなたは同じ条件下で、スローの放棄を宣言することもできます。また、あなたはOBのペナルティの後、追加のペナルティスローなしでプレーラインに沿って後方にオプションの救済措置を選ぶこともできます。

たぶん、それがあなたの最良の選択肢です。

QA-OB-3

Q：私のディスクがOBの側から柔らかいフェンスに当たりました。おそらくフェンスが曲がって、フェンス側の穴からわずかに突き出したことにより、ディスクがインバウンズ側に入っている時は、ディスクはインバウンズ側（セーフエリア）にあると言えますか？

A：いいえ。フェンスは、フェンスが曲がっている屈曲に沿ってOB面を構成します。ディスクがフェンスを通り抜けていない限り、フェンスは依然として通過不能な面であると考えられます。あなたのディスクがフェンスに当たった瞬間、あなたのディスクはインバウンズ側になかったと見なされます。

QA-OB-4

Q：私のディスクがOBに出ました。私は、OBラインから1メートル以内の代わりに、プレーラインに沿って後方にライをマーキングするようにオプションの救済措置を用いてもよいですか？

A：はい。オプションの救済措置（803.02）は、ペナルティスローを生じたスローの後に、自由に（ペナルティスローを追加せずに）受けることが可能でライの位置選択ができます（OBまたは2メートルルールの場合など）。

QA-OB-5

Q：私のスローはOBである小川の近くに着地しました。小川の縁は泥や草で覆われていて、ディスクが小川の中にあるか否かを判断することが困難です。別のプレーヤーが私のディスクに近づいて行き、水面下にあるかどうかを見ようとし、押し下ろしてしまいました。私のディスクは他のプレーヤーが触れたことにより、インバウンズ扱いになりますか？

A：いいえ。妨害とポジションのルールは、単に触れるというよりも、動かされたディスクについて明記されています。他のプレーヤーは、あなたのディスクの位置を変更したことはありません。実際のところ、しばしばディスクはその状態がどうなっているか、誰の物であるかを確認する必要があります。もし、あなたがOBかもしれない自分のディスクを動かしたならば、それは自動的にOBとなります。しかし、もし他の誰かがそれを動かしたらインバウンズに扱うという対応したルールはありません。もし、そういう事態が起こった場合は、あなたのグループが合意する、おおよそのポジションにディスクを置き直すこととなります。

QA-OB-6

Q：私のグループのプレーヤーがフットフォルトを犯し、コールされました。（2度目のコールでした）そして、彼のスローはOBに出ました。彼は、警告を受けますか、1投のペナルティを受けますか。または2投のペナルティを受けますか？

A：プレーヤーの最初のスタンス違反はペナルティスローを受けます。このケースでは、複数の違反がありました。通常、最初に起こった違反がカウントすべき違反で、このケースではフットフォルトです。（それらは、どちらの場合でも1投のペナルティスローであるので、どちらかは重要ではないですがリスローはありません）。従って、ディスクはOBとしてプレーが継続されます。1回のスローにおいてプレーヤーが複数の違反についてペナルティスローを受けることはできないので、1投のみのペナルティスローとなります。

QA-OB-7

Q：ルール上では、ディスクがOBに出たとき最後に横切った場所に基づいてマーキングできると言われています。それはどんな地点で起こりますか？例えば、しばらくの間、ディスクがOBラインの上を飛ぶかも知れません。この場合、その地点とは、ディスクの一部分が最初にラインと重なった地点ですか？それともディスク全体がラインを横切った時の地点ですか？

A：それは、ディスク全体がOBラインを横切った時の地点です。技術的に解釈すれば、ディスクは円形ですのでOBラインの内側のエッジがディスクが最後に接触していた点です。それがマーキングするためにあなたが使う地点です。

カジュアルエリア

QA-CAS-1

Q：私のディスクは、カジュアルエリアであると宣言された小川に着地しました。マーキングの後ろに足を濡らさずに立つために、岩や折れた木の枝を置いてもいいですか？

A：いいえ。もし、障害物からの救済措置をとらない選択をした場合は、他のコース上と同じようにスタンスを取る必要があります。ライやコース上の非恒久的な障害物以外を移動することはできません。あなたがそのライからプレーしにくい場合や、障害物からの救済措置をとりにくい場合は、1投のペナルティスローを加えることでオプションの救済措置、またはオプションのリスローを宣言することができます。

QA-CAS-2

Q：カジュアルエリアの救済ルールで言うところの「水の中」という用語は、氷や雪の中を含みますか？

A：いいえ。一般的に理解されているとおりカジュアルウォーター（カジュアルエリアにある水たまり）とはルールでは液体状の水のみです。ルール上では、雪、氷や水蒸気に対する救済措置を与えていません。氷または雪が原因となる障害の場合、もし、それらが上に乗っているならば、ライの後方に動かすことができるというトーナメントディレクターの発表があるか注意してください。

ホールの完了

QA-COM-1

Q：もし、私がドロップインできる近距離にいれば、ディスクを投げて入れる必要がありますか、または、私はそれをトレイに置くように入れてから次のホールに移動してもよいですか？

A：あなたはトレイに置くようにドロップインすることができますが、リリースしてから取り戻す前にディスクを一旦、停止させなければなりません。リリースはスローの大切な一部です。従って、単にディスクをチェーンまたはトレイに触れるだけではスローと見なされず、ホールを完了していません。

QA-COM-2

Q：私がバットを行ったところ、バスケットの真上に静止しました。これはどうなりますか？

A：あなたはホールを完了しませんでした。ディスクの真下にあなたのライをマークし、続けてください。

QA-COM-3

Q：私がバットを行ったところ、ディスクがトレイの縁の上部に水平に2つのごぶをまたいで静止しました。これは、入ったことになりませんか？

A：はい、ディスクが目標に正しく（トレイより上でかつ一番上のチェーンサポートより下に）入ったのと同様に入ったことになります。

QA-COM-4

Q：グループの全員が、私の乗るかいパターがバスケットの側面を強引に通過し、全くひっかかることなく、内側に完全に停止するのを見ました。彼らは、そのバットは正しくないバット

であると言いました。パットは成功ですか？

A：はい。ディスクの飛行経路は関係ありません。トレイより上でかつ一番上のチェーンサポートより下のチェーンに支持されていれば、そのホールは終了です。

QA-COM-5

Q：私がパットをリリースするとき、私はリリースの後に前足の上でバランスを取るために後ろ足を持ち上げます。私は意図的に2~3秒の間そこで動きを止め、それから後ろ足を前方に振り出し、ホールの方へと動きます。これはフットフォロトですか？

A：はっきりとした判定は難しいです。あなたのグループ内で判定する必要があります。「完全にバランスをコントロールしていること」を示すために、プレーヤーは、前に歩き出す前にリリース後にターゲットへ向かう動きの流れを完全に分離する行動を実行しなければなりません。バランスを示す行動のいくつかの例は下記のとおりです：(1) 明確な一時停止とバランスを示してみせること。(2) 後ろ足をマークの後方の地面に置くこと、または、(3) マーカーディスクを拾い上げること。これらのすべてにおける鍵は、前方へ動き出す前に、マークの後方であなたの体のバランスとコントロールを示すことです。行動の最良の道筋は、疑う余地を残さないために、もし、あなたがパットをリリースした後本当に自分の身体をコントロールしているなら、簡単にできることをすることです。

QA-COM-6

Q：私のディスクはチェーンの中に静止していました。そして、私は次のプレーヤーにパットを促しました。彼のパットによって私のディスクがバスケットから叩き出されて、地面へ落ちました。私は、ホールを完了するために、もう一度スローをする必要がありますか？

A：いいえ。いったんあなたのディスクがバスケットに支えられて静止したならば、あなたはそのホールを完了したことになります。あなたはディスクを拾い上げて、次のホールに行くことができます。

QA-COM-7

Q：ブラインド（前方が見えていない）ホールにおいて、私はディスクを安定したスピードで投げ、ディスクはバスケットに向かって強くスキップしました。私達が歩いて近づいて行くと、ディスクがトレイの側面に突き刺さっているのを発見しました。ホールの終了と認められますか？

A：はい、チェーンサポートの下のトレイまたはチェーンに支持されていれば、そのホールは終了です。

スコア記録

QA-SCO-1

Q：たとえ合計が正しくても、特定のホールのスコアを記録することを忘れた場合にペナルティはありますか？

A：はい。1ホールでもスコア記録がないまま提出されたスコアカードは不正確とされ、正しい合計スコアに2投のペナルティスローが加算されます。

スローの放棄

QA-ABA-1

Q：放棄されたスローとはどのようなものですか？それは以前のオプションのリスローとどのように違いますか？

A：スローを放棄することは、（スコアに追加されることを除いて）そのスローが起こらなかったことを意味しています。オリジナルのスロープラス1投のペナルティスローがあなたのスコアに加算されます。あなたがスローを放棄する場合は、そのスローの結果として生じているライは無視され、さらに、そのスローによって招かれたどのようなペナルティも無視されます。

QA-ABA-2

Q：短くて簡単なホールでティーショットを林の中に投げ込み、ディスクは木の高い所に突き刺さっていました。2メートルルールが有効です。林の中からプレーするよりもティーをやり直したいです。私は3投目、あるいは4投目を投げますか？

A：ティーショットを放棄することを宣言した後、3投目を投げます。あなたの元のスローに、そのスローを放棄するための1投のペナルティスロー追加します。放棄したスローのペナルティはカウントされません。

QA-ABA-3

Q：私は、ディスクを投げてマーカーディスクを拾い上げた後でそのスローを放棄したいと気付きました。私の投げたライは既にマーキングされていませんが、それでもそのスローを放棄できますか？

A: はい、あなたのグループにその放棄したスローを行ったライのおおよその位置を同意してもらった後、そこからプレーしてください。

暫定的なスロー

QA-PRO-1

Q: 暫定的なスロールールとは何ですか？ それはいつ使われますか？

A: 暫定的なスローは、プレーヤーがグループのルール判定を了承せず、オフィシャルも近くにいない場合、あるいは、ロスト、OBもしくはマンダトリーを失敗した場合に、時間を節約するために使われます。暫定的なスローは、ディスクの状況が判断できるまで、または、問題を解決するためにオフィシャルが現れるまで、ルール判定を延期してプレーを続けることを可能にします。ルール判定が問題になり、または、不確実なケースにおいて、プレーヤーはオリジナルのスローと暫定的なスローの両方のプレーを行う必要があり、基本的にこれら2通りのプレーを完了させます。ルール判定が行われた後は、正しいとされた方のスローだけがカウントされます。

練習スロー

QA-PRA-1

Q: ライをマークした後に、私はパターを私のバッグに向けて約3メートル投げました。それは私のバッグに当たり、跳ね上がり、丘の下へ約10メートル転がりました。それは練習スローになりますか？

A: いいえ。ディスクを戻すための5メートル未満の（空中を飛ぶ）スローは、練習スローではありません。

QA-PRA-2

私の仲間がティーの近くに使わなかったディスクを忘れていました。私はそれを拾って、次のホールで彼に会いました。そこで私はそのディスクを彼に投げました。彼は約3メートル離れていました。それは練習スローになりますか？

A: はい。それは空中に5メートルを超えて飛びました。従ってスローの目的にかかわらず、それは練習スローとなります。

QA-PRA-3

Q: 私のグループのプレーヤーが、短いパットに失敗して怒っていました。ホールを完了した後に、彼は約2メートルの場所から再びチェーンに激しくパットしました。それは練習スローになりますか？

A: はい。そのスローは、競技上のスローとしては行われませんでした。また、使わないディスクを横にどけるためや、ディスクをプレーヤーに返すためのものではありませんでした。そのため、これは練習スローとなります。

干渉

QA-INT-1

Q: 私のディスクは木の中の2メートルより高い位置に引っ掛かりました（2メートルルールは有効になっています）。その後、別のプレーヤーのスローによって地面に叩き落とされました。彼のライはどこになりますか？ また2メートルルールのペナルティスローが必要でしょうか？

A: ディスクは、最初に停止した場所に基づいてプレーされます。それがはっきりと2メートルより高い位置でたので、あなたは、ディスクが木の中に留まったとして、ペナルティスローが課せられます。あなたのディスクを叩き落したプレーヤーについては、競技中において投げられたディスクによって干渉された場合なので妨害ルールは当てはまりません。

ミスプレー

QA-MIS-1

Q: 私のグループは、トーナメントコースの一部ではないホールをプレーしました。ペナルティはどうなりますか？

A: もし、コースの一部であるホールをプレーせずにコース外の別のホールがプレーされたならば、2投のペナルティスローがそのホールのスコアのそれぞれに追加されます。もし、コースを構成するホールに加えて余分なホールがプレーされたならば、2投のペナルティスローが個々のプレーヤーの合計スコアに追加されます（余分なホールのスコアは無かったことにされます）。

QA-MIS-2

Q: 私は知らずに別のプレーヤーのディスク位置から投げました。これはフットフォルトでしょうかそれともミスプレーでしょうか？

A：間違っただけが使われたので、それはミスプレーです。フットフォルト、またはスタンス違反とは、正しいライが使われているけれども投げる時にプレーヤーがスタンス違反していた場合です。

QA-MIS-3

Q：私はマンダトリーを失敗しました、しかし、私達は、次のスローを投げた後までそのことに気が付きませんでした。私はどうすればよいですか？

A：あなたの2投目は間違っただけからなのでミスプレーになります。それはドロップゾーン（ドロップゾーンが設定されていない場合は直前のライから）から成されるべきでした。1回のミスプレーの後に気づいたので、そのミスしたスローはカウントされません。代わりに、ミスプレーに対して1投のペナルティスローが発生します。あなたの次のスローは、マンダトリーを失敗した際の正しいライからです。ミスプレーであったスローの前に行われたため、マンダトリー失敗のペナルティは引き続き適用されます。

QA-MIS-4

Q：スコアカードが提出された後に、私は、スタートホールで最後のバットをしていなかったことに気がつきました。ペナルティはどうなりますか？

A：ペナルティは811.Cにおいて述べられているように2投のペナルティスローです。追加のスローは、完了しなかったホールの最終的なスローに追加されます（811.F3）。そのホールのスコアは、実際に投げたスロー数に2投のペナルティスローを加え、さらにホールを完了するための1投が加算されます。

QA-MIS-5

Q：ラウンドの最中に、私はお腹が痛くなりトイレを見つける必要がありました。私はトイレに長く居て、私のグループは私なしでホールをプレーしました。私はグループに復帰することができずか？また私が回れなかったホールは何かペナルティを受けますか？

A：はい。その問いの扱いに関しては、811.F.5および811.F.6を参照してください。

QA-MIS-6

Q：私は2分前の合図の後に遅刻してコースに到着しました。そして、私は公園の全く反対側にあ

る12番ホールに割り当てられているのに気が付きました。私がそこに時間内に到着できる方法が全くありません。そこで、私はホールをラウンドできなかった場合の、パープラス4投ペナルティスローを予測しました。その時、私はすぐそばの3番ホールでプレーする3人組に気が付きました。もし、私が彼らに合流してプレーしたとしたら、私は間違っただけから及び（または）間違っただけで始めた場合の2投のペナルティスローを受けるだけで済みます。賢いでしょう？

A：そうではありません。自分に有利になるように、意図的にホールを間違っただけはあなたを失格させる可能性があります。間違っただけ開始グループでプレーした、いかなるスローも無視されます。あなたは割り当てられたグループを見つける必要があります。

礼儀

QA-COU-1

Q：私のライバルは、頭脳ゲーム（例えば、私のラウンドスコアを私に話して、私にバットを外させる等）が好きです。私は彼を礼儀違反で訴えてもよいですか？

A：たぶんよいでしょう。礼儀違反としてリストに明記されていないこうした発言は「気を散らすか、またはスポーツマンらしくない」行動として罰せられることができます。あなたとあなたのグループは、そのプレーヤーの行動が訴えるに足るほど悪質かどうかを決める必要があります。それは問題外として、あなたやあなたのグループと（または）他のプレーヤーは彼らとともに十分議論する必要があります。もし、行動が悪質か、またはそのプレーヤーにそういった行動パターンがあるならば、あなたはトーナメントディレクターおよび（または）PDGA規律委員会に知らせることができます。

機器

QA-EQU-1

Q：距離計を使用してもよいですか？

A：はい。しかしあなたは時間超過ルールによって許された30秒間以内に投げ終わらなければなりません。

QA-EQU-2

Q：PDGA承認モデルのディスクで特価販売されたディスク（X-outのディスク、ファクトリーセカンド、熱スタンプの不合格品など）はPDGAの競技大会での使用は認められますか？

A: はい。PDGA技術基準文書で概説されているように、そのディスクが全体の制限（重量、縁の鋭さ、柔軟性など）にも合致する限り、それらはPDGA競技大会でプレーのための使用が認められます。プレーヤーは、いつでも、競争において使われたディスクの合法性を疑う権利を持っています。そのようなケースにおいて、トーナメントディレクターは最終的にルール判断ができます。

QA-EQU-3

Q: 私は大好きなバターを車に置いてきてしまいました。私の友人はラウンド中に私のためにそれを取りに行くことができますか？

A: はい。あなたは、ラウンドが始まった後にディスクをバッグに追加することが許されます。その友人によって他のプレーヤーの気を散らせたり、あなたが時間超過ルールに違反しないことに留意してください。最も良いタイミングは、ホール移動の間です。

QA-EQU-4

Q: 私は、よりよいグリップを得るために、何かを私の手に塗ってもよいですか？

A: はい。ルールではそれらの使用を特に禁止しないので、グリップ補助剤の使用は認められます。ただし、グリップ補助剤がくっついてディスクの厚みや重量を増やすのを防ぐために、ディスクの表面を定期的に掃除する必要があります。

QA-EQU-5

Q: 私は、アルティメットプレーヤーから転向しました。私はディスクゴルフをする時には、手袋を着用します。これは許されますか？

A: はい。手袋は、擦りむき防止用具としてルール813.02.Aにより許されています。

QA-EQU-6

Q: 私のディスクが、非常に硬い岩だらけの地面となっている場所に着地しました。私は、私の膝を保護するために、タオルやパッドを下に敷いてもよいですか？

A: はい。あなたは、タオルもしくは、ライの上で圧縮されて1cm未満の厚さになる小さなパッドを置いて構いません。これは、ドロップゾーンやティーエリアでも可能です。

マッチプレー

QA-MAT-1

Q: 相手は私のパットをOKしてくれました。でも私は、自分のパットのストロークを保っておくためにパットを投げたいのです。私はパットを行ってもよいですか？

A: いいえ。いったんあなたの相手がパットをOKしたら、あなたはそのホールを完了したことになります。その後に投げられたパットは、余分なスローになります。最初の余分なスローは警告を受け、その後の同スローはペナルティスローを受けます。

ダブルスとチームプレー

QA-DOU-1

Q: 私のダブルスのパートナーが、投げられたディスクをマーカーとして使ってアプローチショットを投げました。私は自分のスローのためにミニでマークをしてもよいですか？

A: いいえ。チームメンバーは、ライをマークする方法のうち一つの方法でマークしなければならず、ライのマーキングは1回しかできません。

競技マニュアル

QA-CMP-1

Q: 女性はどんな部門でもプレーできますか？

A: 女性は、部門のための資格標準を満たしている限り、どのような部門でもプレーできます。男性だけに限定される部門というものはありません。

QA-CMP-2

Q: もし公式な合図が聞こえる前にグループがプレーを始めたらどうなりますか？

A: もしグループがプレーを間違っただけで早く始めて、それから、公式な開始の合図を聞いたならば、彼らは元のティーに戻ってやり直さなければなりません。それらのスローがたとえ2分前の合図の後に行われたとしても、練習スローとしてカウントされません。もし、グループが実際には早く始めたものの、公式な開始の合図が全く聞こえなかったのならば、スコアはペナルティなしで投げられた通りになります。

ルール変更の概要

2022年版の改正では、重要な変更といくつかのマイナーチェンジがあります。以下に要約しますので、もし、質問や意見がある場合は、メール等でJPDGA事務局にお問い合わせください。

<重要なルール変更>

※ 時間超過（タイムオーバー）：

あいまいな用語だった「気が散る」の代わりに、プレーエリアの安全確保ができなくなった時のみ30秒の計時がリセットされることが明確になりました。また、プレーヤーはトイレ休憩を取るためにグループに時間延長を要求できます。ただし、妥当な時間内に戻らなかった場合は、そのホールをプレーしなかったと見なされ、同プレーヤーはそのホールのパーに4投のペナルティスローが課されます。

※ マンダトリー経路：

マンダトリーの判定は単純な問いかけになります。「ディスクは制限された空間を通りましたか？」プレーヤーがより簡単に判定できるよう、新規則ではディスクが静止するまで待つ必要がありません。ディスクがそのマンダトリーを規定している垂直の面を通過した時はマンダトリー失敗となり、プレーヤーはドロップゾーンまたは直前のライへと進みます。

マンダトリーの経路と目標



上図のようなマンダトリーの場合、トーナメントディレクターはこのように宣言できます。

マンダトリー：制限された空間は、印がつけられた木の幹の右側に広がり、その境界はまっすぐ上向きにそして右に向かって無限に伸びています。

※アウト・オブ・バウンズ：

OBとなった後、プレーヤーが正しいスタンスをとるためのライのマーキングに対して、より柔軟に対応できるようになりました。OBラインから1メートル以内であれば、どのような角度でもマーキングが可能です。また、「直角」の制約は残りますが、ディスクがOBラインによる角から1メートル以内のインバウンズ側であれば、その角からディスクの中心を通る最長1メートルのライン上に再配置できます。（次のページの図を参照）

※ ホールの終了：

ゴールのトレイの側面から入ったディスクもインと認められます。ただし、チェーンサポートのの上に乗った場合は、従来通り認められません。

※ プレーヤーの資格：

PDGA承認の大会の人気の高まりにより、PDGAは正会員の会員要件をAティア大会以上の要件を継続するだけでなく、Bティア大会に参加するプレーヤーにも拡大しました。

※ キャディー：

大会に参加するすべての若年者の安全のために、そしてすべての競技者への公平性と配慮から、PDGAはキャディーが少なくとも13歳以上であることとしました。

※ グループ分けとセクション分け：

ゴーストカードの使用を明確に規定しました。

※ PDGAツアー規定の改定：

Aティアの大会に加えて、Bティアの大会のトーナメントディレクターおよび名義上のアシスタント・トーナメントディレクターは、主催する大会でプレーすることはできなくなりました。いずれもプレーをしないオフィシャルでなければなりません。

注：以上の変更は「PDGAツアー規定」の「表1: PDGAティア規定表」にも反映されます（ただし、JPDGAは2022年シーズン以降、当面はN Tの大会以外には適用しない方針です）。

<ルールのマイナーチェンジ>

※ 障害物からの救済：

障害物が、マーカーディスクの後方にプレーヤーが正しいスタンスをとったり、もしくはプレー地表面の上または下にマーキングすることを物理的に妨げる時、プレーラインに沿って障害物の直後のプレーライン上に新しいライをマーキングできます。

※ 位置の確定：

ディスクがプレー地表面の上に静止した場合、その位置はそのディスクの真下のプレー地表面になります。ディスクの下にプレー地表面がない場合、その位置はそのディスクの真上のプレー地表面になります。

※ アウト・オブ・バウンズ：

ディレクターは、特定のホールアウト・オブ・バウンズ区域に、1メートルを超える特別な救済処置を発表できます。

補足：OBが崖や有刺鉄線などに近いなど、危険回避のためであればローカルルールではなくても対処できるようになりました。

※ スローの放棄：

特定のホールにおいてスローの放棄に対するドロップゾーンが指定されている場合、プレーヤーは直前のライの代わりにドロップゾーンから投げることができます。

※ 干渉：

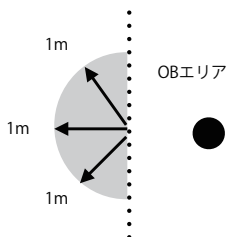
プレーヤーまたはプレーヤーの道具が自分の投げたディスクの進路に干渉した場合、1投のペナルティスローがスコアに加算され、直前のライからプレーを続けます。ディスクがそれを投げたプレーヤーの要求によって干渉された場合、同プレーヤー自身が自分の投げたディスクに干渉したと見なします。

※ ミスプレー：

グループ内のプレーヤーが投げる順番になった時に行方不明の場合、グループに復帰するために30秒間与えられます。その間も行方不明である場合、そのプレーヤーはホール不在と見なされ、パーに4投のペナルティスローを加えたスコアとなります。

補足：806.02.D2

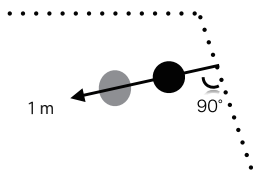
ディスクが最後にインバウンズ側にあった位置から、1m以内の半円状のプレー地表面にマーカーディスクが置けるようになりました。



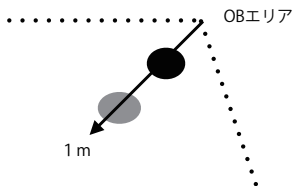
補足：806.02.E

①ディスクがインバウンズ側にある場合は、OBエリアとの境界線に直角に交わる1m以内の直線上にライを再配置できます。

境界線 (OBライン) OBエリア



②あるいは、OBエリアとの境界線が交わるコーナーから1m以内の直線上にライを再配置できます。



Note